



邑南町 2023.12 社人研発表

○2020
 ・人口 10,163人
 ・65以上率 **45.1%**
 (順位 169/1916)

○2050予測
 ・人口 6,043人
 ・65以上率 48.9%

	2003 平成15年	2005 平成17年
旧瑞穂町 合併時人口 約5000人 72人/1集落	○5公民館 ●0自治会 ◎69集落	○5公民館 ●10自治会 ◎69集落
旧石見町 合併時人口 約6000人 72人/1集落	○5公民館 ●21自治会 ◎83集落	
旧羽須美村 合併時人口 約2000人 32人/1集落	○2公民館 ●0自治会 ◎64集落	○2公民館 ●8自治会 ◎64集落

出羽自治会エリアデータ



- ・人口 814人(2022.4末)
- ・世帯数 401戸

- ・行政集落 12
三日市1、三日市2、出羽、
三本松、山田、淀原1、
淀原2、後谷、岩屋、百石、
後木屋、大林

- ・所在機関等
役場支所（健康センター）
公民館、森林組合支所、
商工会支所、酪農組合、
消防出張所、郵便局、
JA（ATM）、交番、医院、
歯科医、保育所、中学校

- ・農地等の状況
農地等面積 水田 93 ha
畑他 3 ha
農家戸数 82 戸

出羽地域振興計画

— 出羽夢づくりプラン —



平成21年3月末日

出羽地域夢づくりプラン策定委員会

目次

第1章 策定の主旨

- | | |
|----------|------|
| 1. 計画の目的 | 3ページ |
|----------|------|

第2章 現状と課題

- | | |
|----------------------|-------|
| 1. 総論 | 4ページ |
| 2. 産業を取り巻く状況（産業部） | 4ページ |
| 3. 生活環境を取り巻く状況（生活部） | 7ページ |
| 4. 定住・交流を取り巻く状況（交流部） | 10ページ |
| 5. 集落を取り巻く状況（総務部） | 12ページ |

第3章 夢（未来予想図）と目標

- | | |
|--------------------|-------|
| 1. 総論 | 13ページ |
| 2. 産業に関する夢（産業部） | 14ページ |
| 3. 生活環境に関する夢（生活部） | 14ページ |
| 4. 定住・交流に関する夢（交流部） | 14ページ |
| 5. 集落や家族の夢と目標（総務部） | 14ページ |

第4章 自治会中期計画（平成21年—平成30年）

- | | |
|---------------------|-------|
| 1. 総論（自治会中期計画） | 15ページ |
| 2. 出羽地区産業育成計画（産業部） | 16ページ |
| 3. 出羽地区生活改善計画（生活部） | 17ページ |
| 4. 出羽地区定住促進計画（交流部） | 18ページ |
| 5. 集落行動計画（ブロック・総務部） | 19ページ |

第5章 まとめ

- | | |
|-------|-------|
| 1. 総論 | 20ページ |
| おわりに | 22ページ |

資料

- | | |
|---------------------------------|-------|
| 1. アンケート結果（概要） | 23ページ |
| 2. 課題整理票 | 26ページ |
| 3. 添付資料（自治会予算の試算表、事業イメージ図、協議日程） | |

出羽地域夢づくりプランダイジェスト版

一年間、考えた出羽の課題と夢、みんなで実現させましょう。

■出羽の現状と課題

古くから人の営みがあった出羽。先人たちは長い歴史の中で、幾多の危機も力を合わせて乗り越えてきた。従来大衆の娯楽や開墾も地域を上げて取り組んできた。そして、製鉄や鉱山、紙政に絶え物、半島の市など、その時代の新産業に景産に挑戦し、出羽の歴史を築いて来た。

しかしながら、ここ数十年、近代化・都市化の流れの中で、出羽はその潮流を失いつつある。森林や農地の荒廃、夜店や家賃の空き家、人口減と高齢化、地域の維持に次第に難しくなってきた。

そんな出羽をふたたび自らの手で支えたい。そんな願いを持って出羽を見てみると、さまざまな課題が見えてきます。

【産業関連では】

- ・農地の集約化、農業の匠人化などの促進
- ・放棄地の活用
- ・鳥獣害被害の防止対策
- ・特産品、加工品の開発
- ・空き店舗、空き家対策
- ・若い手確保対策

【生活環境では】

- ・困難が増す集落(請中)運営の改善
- ・お付き合いの若薄化、役員固定化の改善対策
- ・通学路や遊路の危険箇所整備
- ・子育てや買い物、医療環境改善
- ・環境美化、環境マナーの啓発

【定住・交流促進では】

- ・行事、イベントの負担軽減
- ・施設、観光資源の有効活用
- ・Uターン者の受け入れ、支援体制の構築
- ・地域内、地域外の交流の促進

※多くの課題が、高齢高齢化、担い手不足など人的要因が原因となっています。また、個人の努力や行政だけでは解決できない課題も多く、これからの地域づくりは、行政、地域、住民、企業(商店)などが役割分担し出来ることをやる必要があります。



1. 産業に関する夢

● 一家一品・集落一品など自慢できる特産品作りにチャレンジする街。

● 集落営農・請負農家・生きがい農家と農家以外が支えあふ豊かな田園の街。

● 久喜鉱山、志都の岩屋等の史跡や観光農園等の体験施設が賑やかな街

● 共同して「御用聞き」やよろず屋を復活させ、かゆいところに手が届く街

● 子どもから高齢者まで気軽に時間が過ごせる商店街や施設がある街

2. 生活環境に関する夢

● 街灯や歩道の整備で安心して歩ける等住んで安心な街

● 気軽に使いやすい交通・運搬システムのある街

● 楽しく気軽に参加できる共同作業がある街

● 地域で育む子供たちがUターンしてくる街

● 皆が顔見知りで声がかげ合え、帰省者等も活動に参加できる包容力のある街

3. 定住・交流に関する夢

● 「地域資源を使い衣食住を自分で創る」住みやすくUターン者にも魅力的な街

● 新観光名所(桜並木の復活)を創り、旅行村等の積極活用で都市交流が盛んな街

● 子供たちが地域の担い手として早くから地域活動に関わる元気な街

● 職人が住む町、腕に覚えのある人が尊敬される街

● 使える情報が発信できる街(空き家・農地などの相談員やホームページがある)

みんなで描いた夢です。20年後の輝く出羽へ — みんなで、力を合わせて街づくりを始めましょう。



1

出羽地区振興計画 これまでの流れ

H20
2008

2013 2015

H27

2018 2019 2020

2023.6
2022 2023 2024

出羽地区振興計画(前期)

出羽地区振興計画(後期)

計画最後の5年間

ちくせん
地区別戦略(実践事業)

地区別戦略(発展事業)

出羽地区
運営ビジョン
RMO

出羽地区
夢づくりプラン

2028

2

出羽地区 運営ビジョンの 主要計画

農地利用計画

- ①農地利用計画(水稲とそれ以外)の策定
- ②中山間・農地水管理体制の再編
- ③中心的な農業経営体を支援

地域資源活用計画

- ①ふれあい公園や公民館等の「つどい」出羽地区の活動拠点性の向上
- ②久喜銀山・志都岩屋・淀原堂地等のトレイルコース化
- ③地域資源フル活用と情報発信力強化(空き家、観光スポット、再生可能エネルギー等)

生活支援・自治機能強化計画

- ①地域交通の確保へ行政と連携
- ②子育て支援(公共施設土日開放の実証)
- ③人材バンク、地域通貨の見直し
- ④自治会、地区社協、公民館運営協議会、出羽協定等の組織再編の検討

3

新組織のイメージ

※RMOの組織体制は変更予定です



出羽地域振興計画(出羽夢づくりプラン)

『日々の生活は足りている。足りないのは希望』の声

H22 = 小36・中18

○H21.3 出羽地域振興計画(夢づくりプラン)策定
20年後の出羽の姿を計画

アンケート、話し合いにより導いた夢(目標)を4部門に整理

産業

生活環境

定住・交流

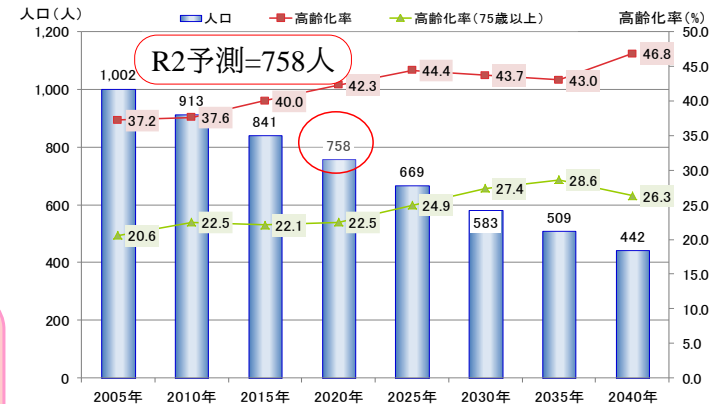
集落・家族

目標に向け自治会で活動(産業部・生活部・交流部)

目標に向け集落で活動

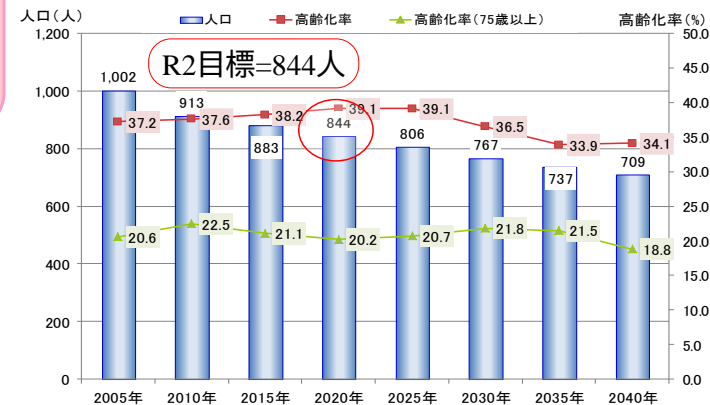
出羽の課題解決、夢の実現に向けて実践

『住む人が希望に満ち、
元気はつらつと生きる地域』



R2.4=811人

R4 = 小38・中25



R12 = 小48・中22

出羽自治会活動(夢づくりプラン関連事業)



雪かきサービス
(人材バンク・地域通貨)



薪ステーション
(エネルギー対策)



ひな街道
(観光)



危険家屋解体
(人材バンク・地域通貨)

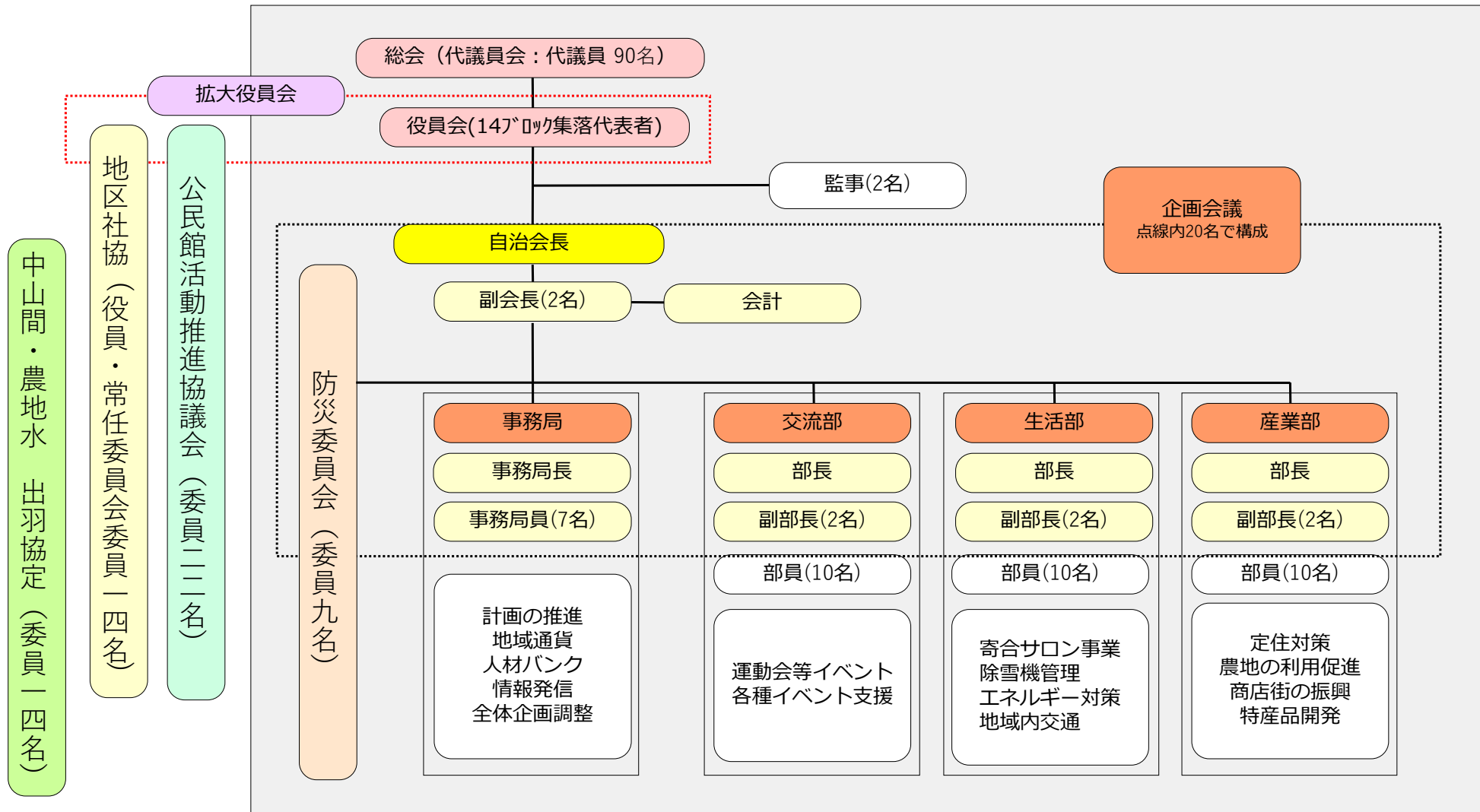


空き店舗活用*起業支援
(定住対策)



鮎小屋
(都市交流)

出羽自治会組織図



出羽自治会と合同会社出羽の関係

自治会

夢プラン上の問題	農業問題 (産業部)	加工品開発 (産業部)	空き家対策 (産業部)	自然エネルギー (生活部)	交通弱者対策 (生活部)	起業支援 (事務局)
対策検討	<p>全戸アンケートの実施</p> <p>↓</p> <p>問題把握</p> <p>↓</p> <p>担い手不在を確認 担い手育成検討</p> <p>↓</p> <p>出羽農業活性化委員会発足</p> <p>↓</p> <p>法人化検討</p>	<p>おからを使った商品開発</p> <p>↓</p> <p>失敗・自力の限界</p> <p>↓</p> <p>外部との連携模索</p> <p>↓</p> <p>瑞穂ハイランドとの乳製品加工連携</p> <p>↓</p> <p>自治会で情報発信</p>	<p>人材バンクを活用した危険家屋解体</p> <p>↓</p> <p>空き家全戸調査</p> <p>↓</p> <p>地域内啓発活動</p> <p>↓</p> <p>空き家活用の仕組み構築</p>	<p>薪活用推進方針決定</p> <p>↓</p> <p>薪販売イベントの実施</p> <p>↓</p> <p>ストックヤードの確保</p> <p>↓</p> <p>出羽木使基地として独立</p> <p>人材バンクとして支援</p>	<p>デマンドタクシー実証</p> <p>↓</p> <p>利用者が少なく失敗</p> <p>↓</p> <p>必要性を含めて検討中</p>	<p>まち・ひと・しごと創生総合戦略において出羽地区計画作成</p> <p>↓</p> <p>計画に基づくインフラ整備</p> <p>↓</p> <p>起業希望者2名の獲得</p> <p>↓</p> <p>LLCへ支援体制構築、支援計画の作成依頼</p>

LLC

事業実施	H25	H26	H27	H28	H29	R5
	<p>合同会社出羽設立</p> <p>出資社員6名 資本金6万円</p> <p>【農業部門】 農地集積面積25ha</p>	<p>定住部門事業開始</p> <p>出資社員11名 資本金339万円</p> <p>【農業部門】 農地集積面積27ha</p> <p>【定住部門】 空き家管理3戸 Iターン者6名</p>	<p>【農業部門】 農地集積面積28ha 水田放牧事業開始</p> <p>【定住部門】 空き家管理4戸 Iターン者7名</p>	<p>【農業部門】 農地集積面積30ha 雇用社員2名</p> <p>【定住部門】 空き家管理5戸 Iターン者10名 空き店舗活用開始</p>	<p>起業支援事業開始</p> <p>出資社員17名 資本金539万円</p> <p>【農業部門】 農地集積面積32ha</p> <p>【定住部門】 空き家管理 7戸 Iターン者 11名 起業支援者 2名</p>	<p>【農業部門】 一部独立(17ha) 農地集積面積15ha 雇用社員 0名 ブドウハウス 3棟 地域計画策定開始</p> <p>【定住部門】 空き家管理 4戸 Iターン者 14名 起業支援者 7名 空き家調査 3件</p>

合同会社(LLC) 出羽の概要

2024(R6).2.29現在

【設立目的】 出羽ゆめづくりプランの構想に基づき、みんなで力を合わせて行う街づくりを自治会と連携して行う。

【資本金】 544万円 《利益剰余金 約1329万円》

【社員数】 17名（農業部12名、定住部10名）、業務執行社員6名（農業部3・定住部3）

【代表者】 代表社員 和田文雄

【定款上の主な事業】

- 1 出羽地区におけるまちづくり、振興計画、土地建物の有効利用に関する調査、計画、運営
- 2 不動産の売買、交換、賃貸借及び仲介ならびに所有、管理
- 3 各種イベントの企画、運営
- 4 商店街、商店の販売促進のための共同事業
- 5 御用聞きや生活必需品等の配達
- 6 福祉有償運送
- 7 飲食店の経営
- 8 農畜林産物の生産販売
- 9 農畜林産物を原材料とする加工品の製造販売
- 10 農畜林産物生産に必要な資材の製造販売
- 11 農林作業の受託
- 12 前各号に付帯関連する一切の事業

定住部決算状況

2023年末	純資産合計	884.4万円	(資本金200万円)
2023年末	現・預金残高	781.6万円	〃
2023年末	解体補助原資	155.3万円	(敷金23.3万円)

※解体補助原資：家賃収入の10%以上を将来の危険家屋解体費用の原資として確保しています。

合同会社出羽(農業部門)

①地域農業の規範となる

機械化・合理化を進め、儲かる農業の展開
R6 営農計画

水稻15ha ブロッコリー0.6ha 枝豆0.2 白ネギ他0.2ha ブドウ(神紅ほか)0.3ha 肉用牛飼養預託(2頭)
雇用者 1名

②リタイヤ農家の受け皿

中山間地域等直接支払加入農地のリタイヤの際は受け皿となる

③耕作放棄地の利活用

H29経営計画
和牛放牧2ha 露地野菜0.5ha ブドウハウス0.1ha

④新規就農者育成(コロナ禍中断、R6再開)

新規就農希望者を3年程度雇用し農地を斡旋して独立を繰り返す

⑤雇用のための利益確保(コロナ禍中断)

利益を出す手段が農業であるため、雇用社員の人件費は農業部門で確保する

○現状

補助金終了や価格低迷により和牛放牧による雇用継続を断念、1名は町内他団体に就労1名は転出。コロナ禍の影響等もあり④事業を中断、R5年度から④事業の再開を目指した取り組みを再開し、R6新規就農1名。



合同会社出羽(定住部門)

○空き家活用事業

【空き家活用までの流れ】

- ①自治会が活用できる可能性のある物件をLLCに紹介
- ②物件所有者(管理者)と交渉・・・賃貸の可否、
- ③交渉がまとまれば賃貸契約(固定資産税相当の賃料)
- ④修繕の必要がある場合は修繕(概ね150万円/1棟まで)及び清掃
- ⑤自治会、役場などから入居希望者の紹介
- ⑥自治会長、該当集落長による入居希望者の面接
- ⑦入居が決定すれば転借契約
- ⑧以後料金収納事務

【R6.4時点取扱物件】(改修費は補助金込み)

物件	改修費	家賃(月額)	入居者
物件A木造平屋建	23万円	5,000円	20代男 <u>物件解約(結婚)</u>
物件B木造2階建	106万円	30,000円	30代夫婦 <u>物件売却</u>
物件C木造平屋建	223万円	30,000円	<u>30代男(新築定住)</u>
物件D木造平屋建	25万円	25,000円	40代男
物件E木造2階建	428万円	25,000円	家族(3人) <u>物件譲渡</u>
物件F木造2階建	430万円	50,000円	2店舗起業
旧公民館貸借	138万円	光熱水費	シェアオフィス4団体

○起業支援事業

- 1 目的
出羽地区まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づき、地域内で起業するひとをサポートする。
- 2 サポート内容
起業プログラムの作成支援、空き物件の紹介、起業者の生活支援、広報協力、人的補助、販売支援等
- 3 H29計画
地域内空き店舗(旧コンビニ)を借り受け、起業希望者にチャレンジショップとして提供する。
- 4 起業者
 - ①30代男(地域おこし協力隊：現在町内在住)
 - ・R3年度にパン屋開業を目指す
 - ・会計等の事務処理、事業者とのマッチング支援。
 - ・**R3年度は人材公募し移住者が起業**
 - ②30代女(地域マネージャー)
 - ・R1年度チャレンジショップにて手作り雑貨店開業。
 - ・自治会イベントを活用した宣伝。
- 5 現状：コロナ禍の中事業が停滞、**R4年度事業再開**

連携事業(自治会+LLC出羽)

自治会リクナビ事業
(Iターン者3名)
+
LLC空き家活用事業
農業・お好み焼き店

施工前



施工後



連携事業 (自治会 + LLC出羽)

自治会リクナビ事業
(4店舗営業開始)
+

LLC空き家活用事業
パン屋・雑貨店
・チーズ工房・自転車屋

パン屋



交流スペース



雑貨店



施工前



チーズ工房・自転車屋

施工後

連携事業（自治会 + 中山間協定 + 公民館） = わんぱく学校



農地準備



植え付け



生育管理



収穫



農産品加工



加工品販売

連携事業(自治会+地区社協+公民館)



出羽ひな街道(3月一ヶ月程度)

- 健康維持に向けたスタンプラリー
- 商店街等では「ひな御膳」等の提供



連携事業（自治会+中山間協定+公民館）＝わんぱく学校

薪割り



木工教室



川遊び



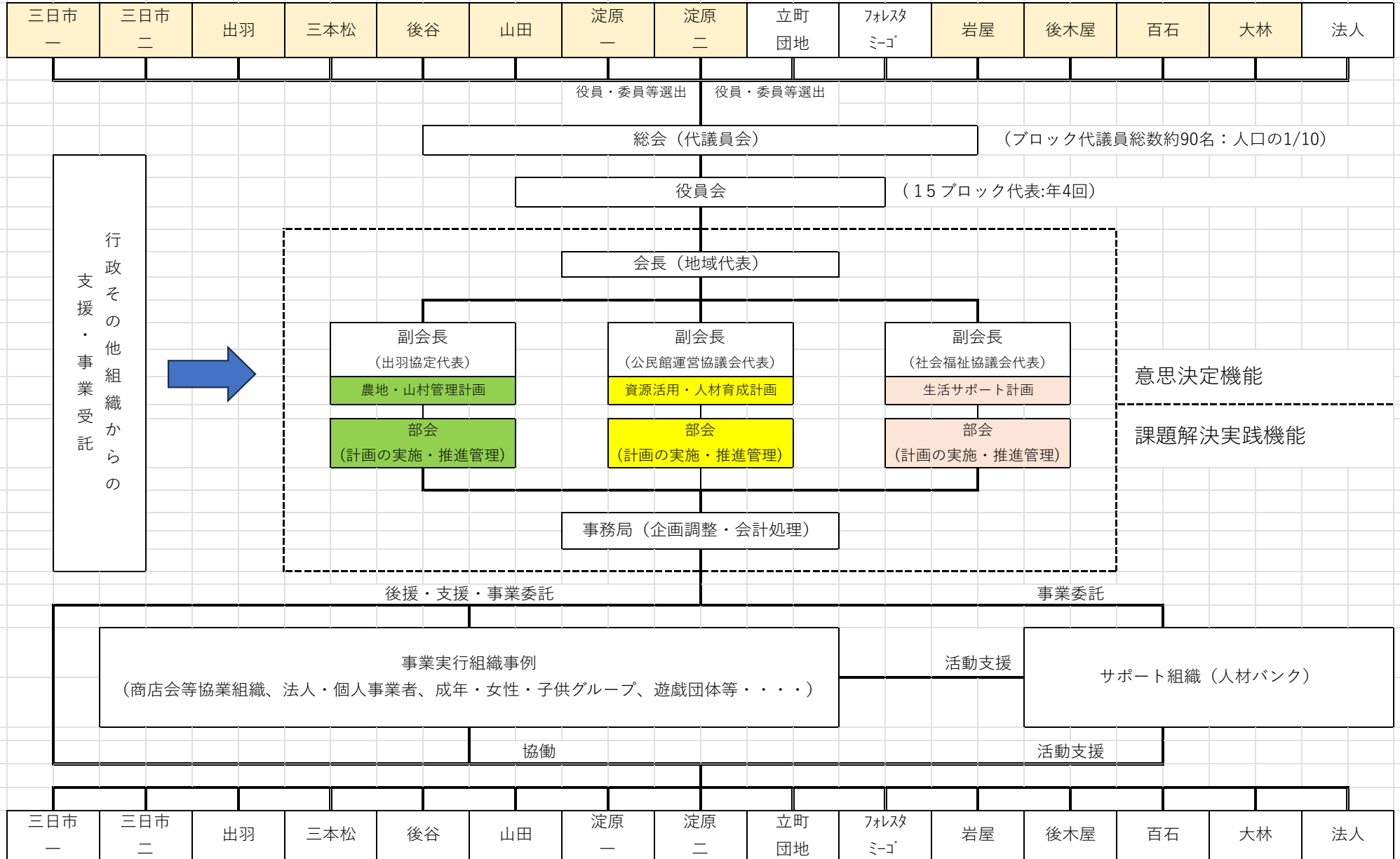
自然観察（昼・夜）



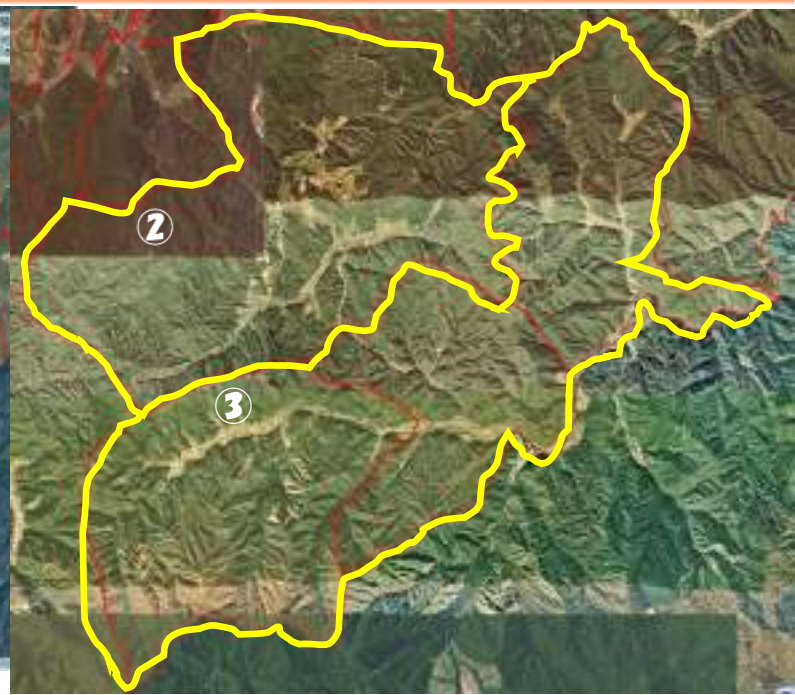
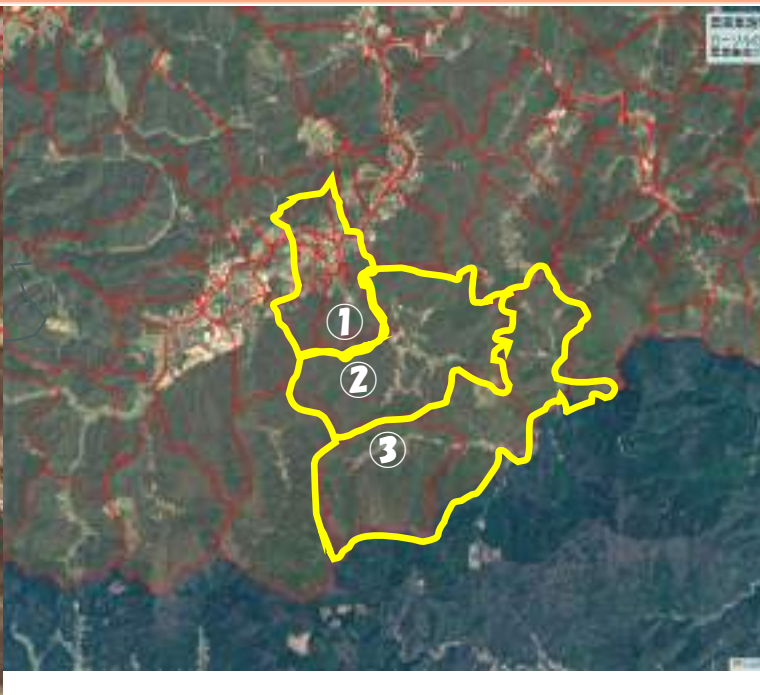
特別天然記念物オオサンショウウオ
生態観察→学会・全国川サミット発表



出羽地区運営組織（農村RMO）の将来像



出羽地区の農村集落境界データ（農水省HP 2015年）



①出羽北協定の農村集落（7集落） 総戸数197戸

所有耕地面積 35ha

農家数 46戸

販売農家数 26戸
(集落営農1)

②岩屋協定の農村集落（1集落） 総戸数33戸

所有耕地面積 20ha

農家数 20戸

販売農家数 14戸
(集落営農1)

③出羽南協定の農村集落（3集落） 総戸数36戸

所有耕地面積 12ha

農家数 16戸

販売農家数 14戸
(協業組織1)

目標地図作成に向けた協議のベース図

